昭和十二年度直轄工事年報

總論

第一治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ着手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十

三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スルコトトナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得、同四十四年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ共河川名左ノ如シ

第一期河川

利根川　信濃川　木曾川　淀　川　九頭龍川
吉野川　庄　川　高梁川　遠賀川　北上川
雄物川　荒　川　阿賀野川　富士川　最上川
神通川　岩木川　加古川　綠　川　斐伊川
（以上二十河川）

第二期河川

天龍川　阿武隈川　筑後川　那珂川　庄內川
中　川　手取川　矢作川　大和川　吉井川
馬淵川　紀ノ川　大淀川　由良川　多摩川
關　川　米代川　鳴瀨川　久慈川　菊池川
鄉　川　旭　川　渡　川　蘆田川　川內川
相坂川　千代川　鶴見川　大野川　球磨川
相模川　肱　川　矢部川　狩野川　圓山川
肝屬川　太田川（靜岡）　豐　川　白　川　大分川

酒匂川　鈴鹿川　太田川(廣島)　名取川　仁淀川
(以上四十五河川)

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度(昭和三年度)迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ著手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノコトニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未著手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、產業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二次臨時治水調査會ニ於テ愼重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川共他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度內ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之レガ決定ヲ見タルモノ卽チ左記河川是ナリ

鬼怒　川(利根川支川)　小貝　川(利根川支川)　信濃川上流(新潟縣下)　犀　川(信濃川支川)
野洲　川(淀川支川)　木津　川(淀川支川)　北上川上流　雄物川上流
最上川上流　天龍　川　阿武隈川　筑後　川
那珂　川　庄內　川　手取　川　矢作　川
大和　川　吉井　川　馬淵　川　紀ノ川

大淀川　由良川　關川　米代川
久慈川　旭川　渡川　蘆田川
川内川　千代川　鶴見川　大野川
相模川　肱川　狩野川　肝屬川
豐川　白川　大分川　酒匂川
鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川
新宮川　安倍川　菊川　大井川
北川　常願寺川　小矢部川　黒部川
天神川　日野川　佐波川　那賀川
土器川

（以上五十七河川）

右ノ內帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川內及太田（靜岡）、安倍ノ各川並多摩川上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ鋭意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其改修區域ハ利害ノ關係極テ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニ非ザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益々河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ內務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴

瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ大正七年度ヨリ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其事業ヲ直接施行スルコトトナリ尚翌八年度ヨリハ太田川(靜岡)、阿賀、阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大洪水ニ鑑ミ更ニ增補工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ亙ル工事ノ進捗ヲ遲延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施工ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓(內地方負擔二十五萬圓)ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年十一月ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ卽チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依ル豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度內ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ付テハ今後十箇年度內ニ着工シ同十五箇年度內ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル其河川ハ次ノ如シ

北上川上流　　米代川　　雄物川上流　　阿武隈川下流

久慈川　入間川　鶴見川　相模川
黒部川　常願寺川　小矢部川　手取川
豊川　庄内川　新宮川　由良川
天神川　吉井川　郷川　菊池川
白川　球磨川　大分川　肝属川

（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ付テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク增大シテ速ニ改修工事施行ノ必要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ俟タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修濟ナルモ現在堤防ヲ以テハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ增補工事ヲ行フモノトス

最上川上流　小貝川　烏川（神流川ヲ含ム）　菊川
矢作川　大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ鋭意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシテ今後十箇年度內ニ著工シ同十五箇年度內ニ完成スルモノトス

最上川支流立谷澤川　同　銅山川　阿武隈川支流荒川
利根川支流鬼怒川　同　渡良瀬川　相模川

信濃川支流清津川　黒部川　富士川水系

信濃川水系　天龍川水系　庄内川上流土岐川

木曾川支流中津川（落合川ヲ合ム）　安倍川　大井川

淀川支流野洲川　淀川支流大戸川　新宮川支流十津川

蔦田川

而シテ既定河川ノ内本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ筑後川、淀川（増補工事トモ）木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川（利根川支川）、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期（江戸川、中川ヲ含ム）、荒川下流、阿賀野川、多摩川、北上川、太田川（静岡）、加古川ノ十五流域ニシテ工事中ノモノハ荒川上流、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川（信濃川上流）、神通川、岩木川、阿賀阿武隈兩川、圓山川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流（新潟縣下）、天龍川、千代川、蔦田川、紀ノ川、筑後川新工事、緑川、北川、旭川、鬼怒川（利根川支川）、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川（淀川支川）、川内川、太田川（廣島）、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川、手取川、小矢部川、天神川、阿武隈川下流、木曾川下流増補、常願寺川、米代川、肝屬川、球磨川、黒部川、馬淵川、大和川ノ五十工事ナリ而シテ右ノ内附屬物及水路維持工事トシテ實施中ナルハ木曾川、淀川、利根渡良瀬兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣成シタルハ吉野川及野洲川（淀川支川）、神通川、桂川（淀川支川）ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域（瀬田川）、富士川、信濃川水系（千曲川）、鬼怒川（利根川支川）、常願寺川、手取川、揖斐川（舊木曾川支川）、木津川（淀川支川）、神通川、烏川（利根川支川）、天神川、荒川（阿武隈川支川）、小瀬川（天龍川支川）、渡良瀬川（利根川支川）、魚野川（信濃川支川）、中津落合兩川（木曾川支川）、土岐川（庄内川上流）、大河内川（安倍川支川）、立谷澤川（最上川支川）ノ

二十河川ナリ此内淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲スモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦千曲川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ要アルヲ以テ信濃川水系ト改稱シ七年九月以降農村振興土木事業トシテ追加工事ヲ施行スルモノナリトス

第二　港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ國運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益重要ヲ加ヘ天然ノ儘ニ放任スルヲ許サズ隨時隨所ニ之ガ施設ヲ見ルニ至レリ明治三十三年六月勅令第二百六十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絶シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委スベキモノトニ區別シ卽チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戶、關門海峽（下關、門司）、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、靑森、仙臺灣內ノ一港（明治四十三年五月伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月淸水、那覇ノ兩港ヲ、同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶（後高知ト改稱）、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞

鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戸、飾磨、宇部ノ三港ヲ、同十一年十二月唐津港ヲ追加シ三十七港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十二港トナレリ而シテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ地方ノ事業ヲ國ニ於テ直接施行スルモノ漸次多キヲ加ヘ一面ニハ大藏省ニ於ケル横濱、神戸及門司ノ諸港ニ稅關設備トシテ港灣工事ヲ施行シ居レルガ爲メ我國港灣ノ施設經營ニ關スル行政制度ノ紛更ヲ招來セルノ虞アルニ鑑ミ大正七年十月閣議ニ於テ港灣ノ經營ヲ內務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功シタリシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ直轄起工シ又四日市港ハ同年度ヨリ三重縣ニ於テ施行シ船川港ハ同四十四年度ヨリ秋田縣ニ於テ施行セルガ兩港トモ大正三年度ヨリ補助港トナリ又神戸港防波堤築造工事、同港修築工事、門司港修築工事ハ大正八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同四十年度ヨリ下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ內神戸港防波堤築造工事及門司港ハ同八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同十年度ヨリ內務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ國庫ヨリ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ、其他國庫補助工事トシテハ新潟港ハ同六年度ヨリ起工(市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承)シ、長崎港ハ同九年度ヨリ起工シ又直轄施行ノ下關港及清水港(十一、二年度震災復舊ニ係ル追加工事アリ)ハ同十年度ヨリ起工シ高松、境ノ兩港亦同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市ノ施工ナリシヲ同十二年度ヨリ直接續工シ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戸(高知ト改稱)、七尾、尾

道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外產業振興事業トシテ橫濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上ゲ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進スベク其繰上總額百三十五萬圓（內地方負擔五十六萬圓）ナリ尙關門海峽及神戶港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ產業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトナリ尙重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手シタルモノハ大分港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又靑森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫補助工事トシテ是亦同年度ヨリ起工ノコトトナリ酒田、和歌山、宇部、廣島ノ各港ハ時局匡救事業トシテ八幡、戶畑兩港ハ航路改良ト共ニ十一年度ヨリ、下關港ハ第二期工事トシテ十二年度ヨリ起工スルコトトナレリ而シテ門司港浚渫工事トシテ第二豫備金ヨリ支出シ十年度起工シ當該年度ヲ以テ完了セリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港（第一期及第二期）、新潟港、長崎港、高松港、下關港（第一期）、門司港（浚渫工事トモ）、境港、鹽釜港（增補工事トモ）、今治港、小松島港、鹿兒島港、淸水港、伏木港ノ十六工事ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽（第一期ヲ含ム）、神戶港、橫濱港、土崎港、小名濱港、宮古港、高知港、七尾港、尾道港、舞鶴港、博多港、靑森港第二期、宇野港、三角港、大分港、細島港、若松港、廣島港、和歌山港、酒田港、八幡港、戶畑港、下關港第二期、宇部港ノ二十四港灣ナリトス

第三　復舊、補修及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀬川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ橫濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ橫濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ橫濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尙昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處本年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコトトナリ又信濃川大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ共復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度內ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根、渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地辻ノ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ隆起ヲ招キ、流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地辻運動ノ終息ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦上完全ヲ期スルガ爲メ八年度ヨリ着工セル應急工事及前年度着工ノ桂川災害復舊工事モ本年度ニ於テ竣功セリ而シテ十年度ニ淀川維持工事ニ與ヘタル水害

ハ之レガ復舊ヲ要シ、又同年度ニ於ケル利根、渡良瀬兩川維持工事及筑後川改修工事ニ與ヘタル水害モ復舊ノ要アルヲ以テ施工ノ上共ニ本年度ヲ以テ竣功シ尙本年度ニ於ケル淀川災害復舊工事及淸水港修築工事ニ附隨スル十一年度着手ノ震災復舊工事モ本年度內ニ竣功シタリ又十年度被害ニ係ル利根川應急增補工事ハ同十一年度以降四箇年度繼續事業トシテ施行スルコトトナレリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事及利根川應急增補工事ヲ剩スノミナリトス

第四　國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ瓦ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之レガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定セラレタリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ擧グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限リ完了スルヲ目途トシテ著手セルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ失業緩和ニ資シタルモノナリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎微不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起

興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分ノ工事費ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ前年度ト同樣失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニ力ムルノ方針ヲ採リ新ニ產業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルル道路改良ノ急ニ應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ卽チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ亙ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ亙ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ而シテ右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ追加豫算ヲ計上其ノ協贊ヲ得、前述ノ失業救濟國道改良費豫算ト合セ國道ヲ改良スルコトトシタリ然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協贊ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル工事ヲ起興シ既定產業振興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尙癒エズ中小商工業者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在テハ前年度ニ於テ執行シタルト同樣ノ道路工事ヲ起興シテ所謂非常時局ヲ匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ九年度ニ於テモ前記ノ狀態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救濟ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行シ十年度亦前年度ノ後ヲ承ケテ續工セリ斯ノ如ク昭和六年度以來國道改良工事トシテ直轄施行シ良好ノ成績ヲ收メ來リシガ元來國道ハ國家交

通ノ幹線ナルヲ以テ其重要ナル改良ニ就テハ政府ニ於テ之ヲ統一シテ施行スルヲ至當ナリトシ同十一年度ヨリハ主トシテ國道改良費トシテ繼年工事ヲ施行スルコトトナレリ

以上述ベタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線及箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ各工事ノ狀況ニ付テハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列擧ニ就テハ豫算面ニ基キ前年度ノ繰越ニ係ル時局匡救事業、産業開發事業ト前年度起工ノ國道改良工事費トニ夫々區分シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

第五　本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修五十、河川附屬物及水路維持七、砂防十九、港灣改良二十四、復舊四、國道改良七十四、合計百七十八工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其施行ヲ擔當ス而シテ本年度施工ニ關スル是等ノ總工費現在豫算額ハ河川改修工事費三億五千七百六十萬四千七百十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千六百三十五萬一千七百十三圓、砂防工事費一千四百九十二萬四千八十三圓、港灣改良工事費一億五千八百七十二萬四千二百六十五圓、復舊工事費六百九十四萬三千三百二十四圓、國道改良工事費三千七百三十萬三千三百十四圓、合計五億九千百八十五萬一千四百十一圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ三億六千九百八十八萬九千三百五十六圓ニ達シ其內本年度ノ竣功ニ屬スルモノハ三千五百三十九萬九千二百六十五圓ナリトス今之ヲ本年度末ノ竣功歩合ニ就テ見レバ河川改修工事費ハ其總工費既定額ノ六割ニ當リ河川附屬

物及水路維持工事費ハ同七割四分、砂防工事費ハ同六割六分、港灣改良工事費ハ同七割三分、復舊工事費ハ同六割七分、國道改良工事費ハ四割ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同六割二分ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル主ナル各工事費累算額ハ二億八千五百七十八萬四千二十四圓ニシテ之ヲ前記ノ竣功額ニ合算スレバ實ニ六億五千五百六十七萬餘圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前回年報ニ比シ差違アルハ豫算額ヲ改訂セルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタル等ニ因ル表中工事名欄國道改良工事中ノ「十一時匡」ハ十一年度時局匡救ノ繰越事業、「十一國改」ハ十一年度國道改良ノ繰越事業、「十一國新」ハ十一年度國道新設ノ繰越事業、單ニ「時匡」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ時局匡救事業、又單ニ「國改」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ國道改良事業ヲ示ス符號ヲ以テ示シタル竣功額欄ノ「◎」ハ縣市若クハ會社等負擔額、「□」ハ管理者負擔額、「▲」ハ寄附又ハ提供材料竝勞力費、「×」ハ土木試驗所ヘ補給減額、「震」ハ直轄震災復舊、「●」ハ依託工事費但シ「鐵」ハ鐵道省、「靜」ハ靜岡縣ヲ示ス而シテ殘高欄「△」ハ超過額(竣功高ニシテ豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル)ナリ

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
河川改修工事							
荒川上流改修工事	東京	円 二一、〇三八、三八二	▲□ 二〇、三四〇、三八二 円 一四四、九七一 一一〇、三一六	▲□ 二一六、六一二 一五九、八六六 一九、六四八	□▲ 二二〇、七五六、九九四 一三四、八三七 一九七四	円 二八一、三八八	割分 〇・九九
最上川改修工事	新潟	一三、四五九、〇四四	▲□◎ 一一、三〇一、三三三 一〇四、六七五 八三、七九八	▲□◎ 三七二、五七六 一三一、一三六	▲□◎ 一二、六七三、八二九 一〇四、六七五 八三、七九八	七八五、二二五	〇・九四
江合、鳴瀬南川改修工事	仙臺	七、六九四、〇七八	□ 六、九二一、六四五 五九、一九〇	□ 二五五、二一〇	□ 七、一七六、八五五 五九、一九〇	五一七、二一三	〇・九三
雄物川改修工事	仙臺	一〇、二九七、〇二八	□ 九、五五三、五九六 四六、二六五	□ 四〇七、九四八 八五、六三〇	□ 九、九六一、五四四 一三一、八九五	二三五、四八四	〇・九六

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	歩分
千曲川改修工事	新潟	二、〇〇三、五七〇	□▲	□▲×	一、〇二一、四八〇	七三一、五三〇	〇・九三
神通川改修工事	新潟	八、二九五、二八四	□▲	□▲	八、二八一、五六四	六、七一〇	一・〇〇
岩木川改修工事	仙臺	二、一四三、〇二二	□	□	一、四五五、七四四	六八二、一五九	〇・七四
阿賀川及阿武隈川改修工事	仙臺	二、六八八、四九六	□	□	一、三五二、七八三	一、三三六、一三三	〇・九〇
圓山川改修工事	大阪	七、一七七、七二一	□▲	□▲	一、〇九八、二五九	一、〇七九、四六二	一・〇〇
富士川改修工事	東京	一〇、五〇七、一三七	□▲	□▲	九、九一一、一一一	一、三三六、一三三	〇・八八
木曾川上流改修工事	名古屋	二四、一二六、六〇三	□▲	□▲	一八、三二五、六二七	四、八〇一、九八八	〇・八〇
斐伊川改修工事	大阪	五、九七八、八一八	□▲	□▲	四、七八七、一六八	九六二、一五九	〇・八四
信濃川上流改修工事	新潟	五、二七七、〇七八	◎□▲	◎□▲	四、四五四、一三五	五八四、八一五	〇・八九
天龍川改修工事	名古屋	五、一九五、四八二	□	□	三、九〇七、一五一	一、〇二四、七二二	〇・八〇
千代川改修工事	大阪	五、三八八、七三三	□▲	□▲	四、五五九、八五五	五七二、四八五	〇・八九
蘆田川改修工事	大阪	四、三六六、三三五	□▲	□▲	三、九〇一、一三五	三九一、一三五	〇・九二
紀ノ川改修工事	大阪	三、八四四、一三一	□▲	□▲	三、一〇〇、三〇三	四三一、八二七	〇・八九
筑後川改修工事	下關	二、二八一、六六二	□▲	□▲	一、九四一、九八五	三四八、九二八	〇・五七
綠川改修工事	下關	三、八〇二、五七五	□▲	□▲	二、三三二、〇三五	六八〇、三五三	〇・八二

| 修工事 | 名古屋 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
河川改修工事							
菊川改修工事	名古屋	三、九七三、〇〇〇	□ 一、三四五、二七七、二八〇、五〇〇	□ 二四八、六九四、四九〇	● 一、五九三、九七一、七七〇	二、三七九、三五四	〇・四〇
烏、神流川改修工事	東京	▲□ 三、六〇三、〇〇〇	▲□ 一、三三六、八八一、二四九、三四七五	▲□ 一、三六、三三六、三一七、六一	▲□ 一、四九二、〇一〇、三三六	二、一〇九、七三	〇・四一
手取川改修工事	新潟	□× 四、九五〇、〇〇〇	□× 一、一八六、一四〇、九〇四、〇〇〇	□× 六〇六、四四八、七八八	□× 二、四八八、五〇七、四〇〇	二、四八一、五一一	〇・五〇
小矢部川改修工事	新潟	五、一〇〇、〇〇〇	五八〇、八八〇	三三四、一六三	九二五、一三	四、一八四、八七七	〇・一八
天神川改修工事	大阪	□●× 四、七四〇、〇〇〇	□●× 七九七、一七四、四五一七、八四八	□●× 二七二、三六八、三九五、八四八	□●× 一、〇七〇、九一三、四〇〇	三、〇〇一、一五四	〇・二二
阿武隈川下流改修工事	仙臺	六、二一〇、〇〇〇	一〇四、九六七	三一五、三八五	四一〇、三五二	五、七九八、六四八	〇・〇七
木曾川下流改修増補工事	名古屋	五、九九九、八三六	四二一、四四六	二三五、〇三七	六五七、七三三	五、七三三、〇三三	〇・〇五
常願寺川改修工事	新潟	三、九三三、〇〇〇	一〇七、九五五	二三一、九八三	三三九、〇三八	三、六〇一、〇〇三	〇・〇九
米代川改修工事	仙臺	二、九七〇、〇〇〇	八五、八四九	二一六、二八八	三〇一、一八二	二、六七八、八一八	〇・一〇
肝屬川改修工事	下關	三、九八〇、〇〇〇	—	六七、五七九	六七、五七九	三、九一二、四二一	〇・〇二
球磨川改修工事	下關	三、三一〇、〇〇〇	—	四四、三〇三	四四、三〇三	三、四五五、六九七	〇・〇一
黒部川改修工事	新潟	● 三、五一〇、〇〇〇	‖	● 五七、六二九 一四四、四〇一	● 五七、六二九 一四四、四〇一	三、三六、七一四	〇・〇三
馬淵川改修工事	仙臺	二、三八五、〇〇〇	—	三五、七一四	三五、七一四	二、三四一、八六六	〇・〇一
太和川改修工事	大阪	四、三八二、〇〇〇	—	四〇、五〇五	四〇、五〇五	四、三四一、五九五	〇・〇一
小計（五〇）	八	三五七、六〇四、七一二	一九七、〇七〇、〇一六	一五、七四四、五〇九	二二二、八一四、五三五	一四四、七九〇、五四一	〇・六〇
河川附屬							
木曾川附屬物水路維持工事	名古屋	一、一七一、一〇六	一、四九六、九五八	四三、三五八	一、五四〇、五四五	一八三、五六一	〇・八九
淀川維持工事	大阪	▲ 二、九四六、六一七	▲ 二、〇四七、〇一九 四三、八六〇	▲ 二〇〇、五八四	▲ 二、二四七、六九三 二四三、八六〇	六八、九二四	〇・七六
利根、渡良瀬兩川維持工事	東京	▲ 六、二四四、〇三八	▲ 五、二七一、五六二	▲ 二四一、二四二	▲ 五、二九八、二二五 二二六、二二六	一、〇五、八三	〇・八四

| 物及水路維持工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
砂防工事							
安倍川流域大河内川砂防工事	横濱	三〇九、〇九一	—	二七、三八六	二七、三八六	二八一、七〇五	〇・〇九
最上川流域立谷澤川砂防工事	新潟	三〇九、〇九一	—	二三、三〇八	二三、三〇八	二八三、七八三	〇・〇八
小計（一九）	六	一四、九二四、〇八三	八、八三三、九五二	九七九、〇八二	九、八〇三、〇三四	五、一二一、〇四九	〇・六六
港灣改修							
關門海峽改良工事	下關	一六、六七七、八六二	▲一六、四二三、六四八	▲一九、一四〇八	一六、五五二、〇五六	二一、八〇六	〇・九九
					三二、九六九		
神戸港修築工事	神戸	四九、五二六、三四六	三六、七六七、八四七	七三、一一三	三七、六〇〇、九六〇	二一、〇三五、三八五	〇・七六
横濱港修築工事	横濱	二三、二三一、四五〇	一七、八三三、九四一	五一五、九六七	一八、三四九、九〇八	四、八五一、五四二	〇・七九
清水港修築工事	横濱	九、〇一七、四六九	震害 八、〇八九、五一八 四八二、一二〇 二五〇、二一七	震害 一八三、一四九	震害 八、三〇五、三四九 四八二、一二〇 二五〇、二一七	九一七、九五一	一・〇〇
土崎港修築工事	仙臺	一、九三〇、九二六	一、五三〇、一〇三	一四八、二七八	一、六七八、二八一	二三、五四五	〇・八七
小名濱港修築工事	仙臺	二、五七七、四四八	二、二七〇、七六一	二六二、三七七	二、五三二、一三八	二四、三一〇	〇・九九
宮古港修築工事	仙臺	一、五六三、六六九	一、五四二、一九	一八三四九	一、五六三、五四八	一二	一・〇〇
高知港修築工事	神戸	二、八六二、一二五	一、七一六、八一二	三一三、三五	二、〇三〇、一四七	八三二、一三八	〇・七一
七尾港修築工事	新潟	二、三五〇、四五六	一、五四二、一七一	三一三、四一九	一、八五六、四八〇	五六二、一五六	〇・七五
宮古港修築工事	仙臺	一、五六三、六六九	一、五四二、一九	一八三四九	一、五六三、五四八	一二	一・〇〇
尾道港修築工事	大阪	三、四五七、一六五	震害 二、〇七九、六四七	震害 一、一〇一、八四〇	震害 二、九五一、八四〇	四八五、九四四	〇・八六
					一、九〇〇		
舞鶴港修築工事	大阪	一、五二八、六〇八	一、二〇、八七五	三一二、七五三	一、四九九、二八五	二九、三三三	〇・九四
博多港修築工事	下關	六、二四二、七三二	三、四九九、一三七	二、一〇五、四四五	三、七四四、二八二	二、五一八、四四九	〇・六七
青森港修築工事	仙臺	三、二七一、〇〇〇	一、四五〇、六四二	二九六、二九九	一、七四七、五五一	一、五三三、四四九	〇・五三
宇野港修築工事	大阪	二、三四九、〇〇〇	一、〇四四、八〇七	二三二、一八二	一、二七六、四三八	一、〇七二、五六二	〇・四四
三角港修築工事	下關	二、三一〇、〇〇〇	一、三七、五一四	二四八、四一五	一、五八五、九四九	七九四、〇五一	〇・二六
大分港修築工事	下關	一、八三三、〇〇〇	九九六、六一六	二四六、一二五	一、二四二、七五二	五八〇、二四九	〇・一八

| 良工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
國道一號線（三重）改良工事（十一國改）	名古屋	一六一、〇〇〇	一一〇、四六二	五〇、六〇〇	一六一、〇六二	△	一、〇〇
國道一號線（參宮）改良工事（國改）	名古屋	二一、一〇〇、〇〇〇		一一九、五一〇	一一九、五一〇	一、九八〇、四八〇	〇、〇六
國道二號線（兵庫）改良工事（國改）	神戸	一、五八〇、〇〇〇	◎	◎	◎	一、四六四、一四	〇、〇七
國道二號線（兵庫）改良工事（十一國改）	神戸	一二七、六五七	一〇三、三六九	二四、〇五三	一二七、四二二	一三五	一、〇〇
國道二號線（岡山）改良工事（十一國改）	大阪	九六、〇〇〇	八九、四三〇	六、九二六	九六、三五六	三五六	一、〇〇
國道二號線（關門）隧道調査	下關	五〇〇、〇〇〇		二九二、八八一	二九二、八八一	二〇七、一一九	〇、五九
國道三號線（松江）改良工事（十一國改）	下關	一〇〇、〇〇〇	六〇、三〇五	三九、六九五	一〇〇、〇〇〇		一、〇〇
國道三號線（椎田）改良工事（國改）	下關	二〇〇、〇〇〇		一三〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	一、〇〇
國道三號線（大分）改良工事（國改）	下關	三〇〇、〇〇〇		六、四四五	六、四四五	二九三、五五五	一、〇〇
國道三號線（大分）改良工事（十一國改）	下關	二〇〇、〇〇〇	一二五、四〇七 三九、三五九	三六、九五八 五、三四〇	二三三、一八七 五五、八九〇	一六六、四二九	一、〇〇
國道三號線（宮崎）改良工事（十一國改）	下關	一五〇、〇〇〇		◎	◎		一、〇〇
國道四號線（草加）改良工事（十一國改）	東京	一〇〇、〇〇〇	七八、一一七	二一、八五六	九九、九八三	一七	一、〇〇
國道四號線（草加）改良工事（國改）	東京	一八〇、〇〇〇		一二、五七一	一二、五七一	六六、四二九	〇、三七
國道四號線（宇都宮）改良工事（國改）	東京	二〇〇、〇〇〇	●	●	●		一、〇〇
國道四號線（栃木）改良工事（十一國改）	東京	一五〇、〇〇〇	◎ 七七、五〇〇	◎ 九、一九一	◎ 八六、六九一	六三、三〇九	〇、五八
國道四號線（福島）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		八、一二九	八、一二九	九二、八七一	〇、〇八
國道四號線（福島）改良工事（十一國改）	仙臺	一五〇、〇〇〇	一三六、〇三六	一三、九六四	一五〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（十一國改）	仙臺	一九五、〇〇〇	一五七、七〇〇	三七、三〇〇	一九五、〇〇〇	三〇、四一四	〇、八〇
國道四號線（宮城）改良工事（國改）	仙臺	一五〇、〇〇〇		一二、五八六	一一九、五八六	三〇、四一四	〇、八〇
國道四號線（宮城）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		七五、九四九	七五、九四九	二四、〇五一	〇、七六

改良工事

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	竣功歩合 殘額	竣功歩合
國道改良工事							
國道十號線（埴科）改良工事（國改）	新潟	円 一、〇〇〇、〇〇〇	円	円 七八、七三〇	円 七八、七三〇	円 二一、二七〇	割分 〇、七九
國道十號線（埴科）改良工事（十一國改）	新潟	一、五〇、〇〇〇	一〇九、〇三〇	四〇、九七〇	一五〇、〇〇〇	—	一、〇〇
國道十號線（田川）改良工事（國改）	新潟	一、〇〇、〇〇〇	—	一八三、三五四	一八三、三五四	一六、七四六	〇、九二
國道十一號線（親不知）改良工事（十一國改）	新潟	一、〇〇、〇〇〇	—	七七、六三六	七七、六三六	二二、三六四	〇、七八
國道十一號線（高岡）改良工事（十一國改）	新潟	五〇〇、〇〇〇	一四九、九四〇	一五八、〇七五	三〇八、〇一五	一九一、九八五	〇、六二
國道十一號線（岐阜）改良工事（十一國改）	名古屋	八〇〇、〇〇〇	二四二、八〇六	二三一、五一三	四九四、一一九	三〇五、六八一	〇、六二
國道十五號線（京都）改良工事（國改）	名古屋	一、五〇、〇〇〇	—	九九、三八六	九九、三八六	五〇、六一四	〇、六六
國道十二號線（滋賀）改良工事（國改）	名古屋	九〇〇、〇〇〇	—	六五、六二三	六五、六二三	八四、三七八	〇、〇七
國道十五線（奈良）改良工事（十一國改）	大阪	一、六〇〇、〇〇〇	一四〇、九四八	二三一、七六二	三七二、七一六	四七、一八四	〇、四七
國道十五號線（和歌山）改良工事（十一時匡）	大阪	一、五〇、〇〇〇	—	一二、三八三	一二、三八三	二七、六一七	〇、八二
國道十五號線（和歌山）改良工事（十一時匡）	大阪	一〇〇、〇〇〇	八八、三一〇	一二、一二七	一〇〇、五二七	五二七	一、〇〇
國道十六號線（大阪）改良工事（十一時匡）	大阪	八四、〇〇〇	八七、四八一	四、五六六	九一、〇四七	八、〇四七	一、〇〇
國道十八號線（島根）改良工事（國改）	大阪	一八八、〇〇〇			一五五、一三五	一七九、三八五	〇、九五
國道二十二號線（香川）改良工事（十一時匡）	神戸	一三〇、〇〇〇	一三一、九九〇	一六、六二五	一三八、六一五	三八五	一、〇〇
國道二十二號線（香川）改良工事（國改）	神戸	一三〇、〇〇〇		一三三、四三三	一三三、四三三	三六、五六七	〇、七八
國道二十四號線（西條）改良工事（國改）	神戸	一三〇、〇〇〇		九三、〇八五	九三、〇八五	三六、九一五	〇、七二
國道二十四號線（愛媛）改良工事（十一時匡）	神戸	一七〇、〇〇〇	一七二、〇三〇	一七九、三八五	一七九、三八五	六一五	一、〇〇
國道二十五號線（佐賀）改良工事（十一國改）	下關	一、五〇〇、〇〇〇		一二九、四一〇	一二九、四一〇	一、三七〇、五八〇	〇、〇九
國道三十二號線（廣島）改良工事（十一國改）	大阪	一、四五〇、〇〇〇	二三九、三八七	三七六、五三六	六一五、九二三	八三四、〇七七	〇、四二

第六　竣功工事

直轄ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和十一年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ別記スレバ左表ノ如シ但シ竣功額ノ豫算額ヨリ超過シタルモノアルハ流用額アリタル等ニ因ル

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	円 一、四八四、〇〇〇	円 一、四八四、〇三四
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同　二十九年度	同　四十三年度	一〇、〇九四、〇〇〇	一〇、〇九四、一二三
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	同　二十年度	大正　元年度	九、四六四、二三八	九、四六四、二三八
庄川改修工事	富山	同　三十三年度	同　元年度	二、九九一、四三一	二、九九一、四三九
遠賀川改修工事	福岡	同　三十九年度	同　七年度	四、八三一、〇〇〇	四、八三五、四五五
淀川下流改修工事	大阪	同　四十年度	同　十一年度	三、七五五、〇〇〇	三、七五九、三八六

事		下關	東京	下關	橫濱	總
國道三十三號線（長崎）改良工事		一〇〇、〇〇〇				
國道三十三號線（十一國改）（長崎）改良工事		一〇〇、〇〇〇		●		
國道三十六號線（新京濱）（國改）新設工事			六、五〇〇、〇〇〇	●		
國道三十六號線（十一國新）（新京濱）（新）新設工事			六、五〇〇、〇〇〇	●		
小計（七四）	八	三七、三〇三、三一四	九八五、四八四	九六二、八七七	九二一、一六二九	五九、八五一、四一二
		六、五八九、〇一〇			三一、一六四	三四、四九〇、〇九一
		八、四六四、六一四	九四二、八一二	一、〇一〇、一〇一	七、三七一、三五四	三五、三九八、二六五
		一五、〇五三、六一四	一、九二八、二九六	一、九三三、〇七九	一〇〇、〇〇〇、三四、七〇五	三六、八八九、三五六
		二二、二四九、六九〇	四、五七一、七〇四	四、五二六、九二二	一〇〇、〇〇〇、三九、九九九	二二一、九六二、四一〇
		〇・〇四	〇・二〇	一・〇〇	一・〇〇	〇・二一

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
九頭龍川改修工事	福井	明治三十三年度	大正十三年度	五、五五〇、四〇二円	五、五四五、一五二円
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	同四十三年度	昭和元年度	一一、四〇〇、〇〇〇	一一、三七〇、三三三
信濃川改修工事	埼玉	同四十年度	同二年度	二三、五四一、九五〇	二三、五三八、二一六
吉野川改修工事	新潟	同四十年度	同二年度	一一、〇一六、一八五	一一、七九一、三八五
高梁川改修工事	徳島	同四十年度	同二年度	七、九二六、〇八七	七、八二六、二〇六
利根川改修工事	岡山	同四十年度	同二年度	六三、四〇三、一一七	六三、三九八、四〇六
荒川下流改修工事	東京、埼玉、千葉	同三十三年度	同五年度	一四、五一七、八五一	一四、一九七、一五五
淀川改修増補工事	茨城、栃木、群馬	同四十四年度	同五年度	三一、三四四、〇〇〇	三一、三四二、一四六
阿賀野川改修工事	東京、埼玉	大正七年度	同七年度	一四、五一七、八五一	一四、一九七、一五五
多摩川改修工事	大阪、京都	大正七年度	同七年度	一一、八八八、一一〇	一一、八八七、二一九
北上川改修工事	新潟	同四年度	同八年度	七、四一四、七八九	七、二一〇、〇一一
太田川改修工事	東京、神奈川	同七年度	同八年度	一四、三七一、〇九九	一四、三七一、五三五
加古川改修工事	宮城	明治四十四年度	同九年度	四、五一九、四〇一	四、五一七、四四九
小	静岡	大正八年度	同九年度	五、八一四、四八三	五、八一四、二六四
計（一九）	大阪	同七年度	同十年度	二四六、三三九、二九六	二四五、一八一、五七六
砂防工事					
吉野川流域砂防工事	徳島	大正四年度	大正九年度	一五〇、〇〇〇	一四一、一五八
野洲川流域砂防工事	滋賀	同四年度	同十三年度	六〇、〇〇〇	五九、八三三
神通川流域砂防工事	岐阜	同八年度	昭和五年度	二七六、八三八	二七六、五七二
桂川流域砂防工事	京都	同五年度	同六年度	九五、一〇〇	九四、九六三
小					
計（四）		同四年度	同六年度	五八一、九三八	五七一、六三〇

港灣改良工事	敦賀港修築工事	福井	明治四十二年度	大正二年度	七三、二一〇	七三、二一〇
	新潟港修築工事	新潟	大正六年度	同十四年度	二、三四二、九〇一	二、三四二、九〇一
	長崎港修築工事	長崎	同九年度	昭和二年度	二、四五〇、〇〇〇	二、四五三、七九八
	高松港修築工事	香川	同十一年度	同三年度	二、一〇〇、〇〇〇	二、一九八、八四一
	下關港修築工事	山口	同十年度	同四年度	三、四三二、〇〇〇	三、一七二、三三〇
	門司港修築工事	福岡	同八年度	同六年度	五、八五〇、〇〇〇	五、六五七、八三五
	境港修築工事	鳥取	同十一年度	同六年度	一、九五五、七四四	一、九五四、八四〇
	鹽釜港修築工事	宮城	同三年度	同七年度	五、〇八七、八八一	五、〇八七、八八一
	敦賀港修築工事	福井	同十一年度	同七年度	三、四三二、三四三	三、四三二、三四三
	今治港修築工事	愛媛	同十一年度	同八年度	二、九二一、一九九	二、九二一、一九九
	小松島港修築工事	德島	同十二年度	同九年度	二、八八一、三八四	二、九八八、六五三
	鹿兒島港修築工事	鹿兒島	同十二年度	同九年度	二、七〇七、八三一	二、九〇三、八四八
	鹽釜港修築增補工事	宮城	昭和七年度	同九年度	五六二、〇〇〇	五六二、〇〇〇
	伏木港修築工事	富山	大正十二年度	同十一年度	四、〇五六、七四〇	四、〇五六、七四〇
	小計（一四）		明治四十二年度	同十一年度	四〇、八四九、〇五九	四〇、〇二八、八一八
總計（三七）			同二十九年度	同十一年度	二八七、七四〇、二五四	二八五、七八四、〇二四